

第二回  
日本の歌  
ふるさと  
コンサート

〜宮沢賢治の世界をうたう〜

第1部 歌と語りによる宮沢賢治の音楽

作詞・作曲 宮沢 賢治  
伴奏編曲 川口 耕平

第2部 合唱「宮沢賢治の最後の手紙」 作詞 宮沢 賢治  
「雨ニモマケズ」 作曲 千原 英喜  
朗読「永訣の朝」

2017年 9月 18日(月・祝)

14時30分開演 [14時開場]

関市文化会館 大ホール

入場料 500円 全席自由

チケット取扱所 / マーゴ 1Fインフォメーション (0575-21-0204)  
浅野屋呉服店 (0575-22-0558)

主催 / 関音楽劇の会

後援 / 関市、関市教育委員会、関市文化協会

お問い合わせ先 / 関音楽劇の会 事務局 0575-24-1833 (佐藤)

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※当日券は、前売券が完売しましたら販売しませんのでご了承ください。

※駐車場には限りがありますので、乗り合わせの上ご来場ください。



# ごあいさつ

関音楽劇の会は、関市の昔話や民話を音楽劇を通して語り継ごうと2012年に発足し、これまでに『名無し木』『狐の嫁入り』『豆の木地蔵』『天邪鬼』『海波の音』を上演してきました。関の刀鍛冶「八板金兵衛清定」と娘「若狭」を題材とした『海波の音』は、種子島で鉄砲を作った最初の人物が「八板金兵衛清定」であった事が縁で、昨年8月には種子島の西之表市でも上演することができました。第一回日本の歌ふるさとコンサートでは、懐かしい日本の歌や関の昔話の読み聞かせなどを行いましたが、今回は、関市に縁のある宮沢賢治の作品を取りあげました。ソロや重唱の他、公募で集まった小学生から80代までの合唱メンバーが宮沢賢治の世界を歌いあげます。どうぞご期待ください。

会長 高井律子

## 第一部

星巡りの歌	道端の黒地蔵	花巻農学校校歌		
月夜の電信柱	一時半なのに…	飢餓陣営の黄昏の中		
けさの六時ころ	ポラーノの広場	大菩薩峠の歌		
牧歌	剣舞の歌	青い槍の葉	北空のちぢれ羊から	
		語り/後藤博見	朗読/中島綾子	伴奏/酒向紗弓
中島 久	長嶺 隆治	丹羽 隆	熊田 清美	佐藤まゆみ
富沢杏安音	山田 雅美	渡邊三城子		

## 第二部

合唱「宮沢賢治の最後の手紙」

「雨ニモマケズ」

		指揮/高井律子	伴奏/酒向紗弓	朗読/早兼高人
早兼 亜澄(小6)	大塚 奏来(中2)	堀江 美空(中2)	川嶋 桃加(高2)	早兼 高人(高3)
大矢 正明	清水 哲夫	中島 久	長嶺 隆治	丹羽 隆
二村 豊彦	本間貴久男	三浦 浩明	三輪 良基	村瀬 勝之
米山 英雄	稲垣由紀子	今尾さち子	植田 友子	太田 佳歩
小木曾利代子	亀山 信子	川嶋 千枝	熊田 清美	佐藤まゆみ
武井 聖子	武田 悦子	富沢杏安音	三輪 千里	山田世津子
米山英津子	渡邊三城子			

朗読「永訣の朝」 中島 綾子

## 関音楽劇の会

遠藤 久子	中島 綾子	高井 律子	浅野欽一郎	北村 隆幸
後藤 博見	竹川 奈穂	高井 絹代	平林 絹子	米山英津子
鵜飼 麻子	佐藤まゆみ			